

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有の徹底や実施している支援への納得感を感じて頂いている。	連絡ツールの活用や送迎時の引継ぎ等で情報共有を図っています。また定期的な面談や日頃頂いている情報、支援での利用者との関わりの中ですり合わせをしながら支援内容を職員間で考えています。	利用者本人や保護者のニーズに応えられるよう、今までの支援に拘らず提供できる支援の幅を広げていく。
2	職員間での情報共有、意見交換がしっかり行われている。	定期的話し合いや情報共有、意見交換ができる機会を設けている。	勤務形態や勤務時間に関わらず意見を吸い上げやすい記録様式やツールの使用をしていく。 定期的な話し合い、面談により意見の言いやすい環境を整える。
3	利用者が楽しんでご利用されている。	全体の大きな流れはありつつも自由に過ごせる時間も確保しメリハリのあるスケジュールを立てている。 支援プログラムを工夫し達成感を感じられる内容にしている。	利用者同士の関わりの機会を設け、他利用者との絆を感じられるような場にしていく。 ステップアップしていると感じられるような工夫を設け、前向きにプログラムに参加出来るようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの広さや静養室の活用等設備環境面。	スペースの狭く利用者の人数によってはスペースが足りないと感じている。 室内のレイアウトに工夫の余地があるのではないか。 静養室に物品が多くあり、静養室として適切な状態と言えないのではないか。	レイアウトの変更や整理整頓によるスペースの有効活用。 書類の電子化等による新たなスペースの確保と効率的なスペースの活用。
2	外部機関や地域との連携が少ない。	外部機関との関わる機会が少ない。 地域活動への参加機会が少ない。	地域のイベント等地域活動へ積極的に参加し、地域に施設の事業内容を周知すると共に地域との関わりを深める。 地域に開かれたイベントを実施し、気軽に関わられる関係を構築していく。 関連機関への挨拶や交流機会を探り、関係構築に努める。
3	マニュアル、緊急対応等の落とし込みが不十分。	各種マニュアルが職員に浸透していない又は形骸化している。	マニュアルの読み合わせや定期的な見直し確認を現場職員で行い、併せて内容の共有をする。 緊急時対応の定期的な確認と、より実践的な緊急時訓練を実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ライズ児童デイサービス港南台

公表日 2025年3月1日

利用児童数 33

回収数 20

		チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4	1	0	普通くらいの広さだと思う。 目は届きやすいが小学生には少し狭いとも感じる。	物の配置の工夫等スペースを有効活用できるよう検討します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2	0	4	何人いるか分からないが少ない感じはない。	配置基準の厳守を基本とし、十分に安全に配慮できるような配置に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	3	0	2	少しくたびれた所もある。	施設の老朽化もありますが、利用者が来所を楽しみに出来るような環境作りをしてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	1	0	親が考えている必要な支援と同じ考えで対応してくれている。 個別支援が不満。本人のレベルに合わせた個別支援をして欲しい。	引き続き利用者一人ひとりにあった支援を検討していくと共に、保護者の方からの情報や意見を取り入れた支援になる様情報共有してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	2	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	1	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	3	0	1	大変工夫されていると思う。 外出レクを増やして欲しい。	地域に出る際に活用できるような経験を 得られる外出レクを実施していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	7	5	よく知らない。	利用者や保護者の需要を把握し、必要に応じてそうした機会を提供できるか検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	0	サービス利用前に詳しく説明してもらった。 利用者負担が変わる際も書面で説明してもらった。	引き続き丁寧な説明を心掛けて参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	3	6	以前参加したので機会があればまたやって欲しい。	連絡ツールを利用し、外部機関のイベントや研修等の情報を周知しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	1	1	0	少しある。	引き続き面談や送迎時、または連絡帳等を通して情報共有をしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	4	6	7	父母会等はないので利用者の保護者とのつながりはない。あったらいいと思う。	保護者同士のつながりをつくる機会が設けられないか検討してまいります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	1	本人からの訴えはあるが可能な限りでの支援はしてもらっていると感じる。	利用者が過ごしやすい環境になるよう配慮してまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	2	電話にて連絡がある。	怪我や体調不良の際には電話にて迅速に保護者への連絡を実施しています。また経過についても改めて説明が出来るよう記録等も残しながら対応しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	2	0	0	毎回楽しみに通っている。 苦手な子がいる日だけ不安定になっている。	利用者が安心して過ごせる環境を整えて行きます。仕切りや静養室等を活用し距離を取るのが難しい中でも落ち着いて過ごせるよう配慮してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	0	0	たまに疲れたと言っているがほほ行けて楽しんでいる。	来所が楽しみになるような事業所を目指してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0	しっかり情報共有し安全に気を配ってくれているので安全に子供を預けることが出来る。	引き続き利用者、保護者にとって安心して利用できる事業所を目指して行きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ライス児童デイサービス港南台		令和7年 3月 1日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	6	片付けや物の配置等を工夫している。	利用者が多い日は狭さを感じる。物の保管場所の確保が難しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	3	適切に配置できている。 欠席者が出た時等配置を調整している。	曜日、時間帯によっては手薄に感じる事がある。 送迎時の職員配置について利用者の変化やその日の状況を加味した対応が難しい時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	建物の入り口にはスロープがあり、建物自体にはエレベーターもついている。 スケジュールや絵カード等を掲示し視覚的に理解しやすい環境を整えている。	トイレの空間だけでも手すりを付けたい。 掲示物が多い事で情報過多な部分もある為、ものによっては簡略化した方が良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	4	毎日の清掃、消毒等を念入りに行っている。 限られたスペースの中で机やマット等を使用し活動に合わせた空間作りを行っている。 活動に合わせた空間づくりは1部屋しかなくて難しいが机などをしまなどメリハリを付けている。	レイアウトの見直しが必要。 大きな声や音が苦手な利用者に対し、部屋を区切る等環境的配慮が難しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	6	マットで場を区切る等してスペースの確保を行っている。	静養室に物が多く落ち着ける空間として機能していない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	店舗会議、支援会議が月に1回ありそれ以外にも朝礼、昼礼、終礼等の場で情報の共有を行っている。	課題の洗い出しは出来ていると思うが全員が同じ方向に向かいやり切れていないと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	頂いた意見に対し話し合う場を設けている。	評価表から頂く意見が少ない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	店舗会議等で業務に就いての話し合い等は行っている。 常勤、非常勤共に意見をいえる場がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		外部評価の機会が少ない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	月別研修、虐待研修等、定期的な研修の機会がある。	研修を受けただけになってしまっている所がある。 研修機会が不十分だと思う。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラムや日々の療育の様子をホームページ等で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	面談時に本人の様子や利用における希望などを伺っている。 定期的に行われている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画作成に際し、事業所内での支援会議を行い意見を出し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	個々に合った支援がされていると思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	スケジュールボードや滞在表等を使って行動し、児童の行動等は記録に残している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	定期的に保護者と面談等を行っており、支援内容はしっかりと設定されている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	複数名の担当者がプログラムの立案に関わっている。	チームでの立案を始めたばかりなので良い形を作っていくたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	基本的な流れは利用者の安定の為に変えないようにしている。 複数名の担当者がプログラムの立案に関わり固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	集団活動ではなるべくみんなで協力して行うよう支援している。 個別、全体で活動、療育を考え支援を行っている。 会議等で情報の共有、改善はされている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	朝礼、昼礼にて打ち合わせを行っている。	休校日の対応等で十分な流れの共有が出来ていない事があるので事前の共有が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	終礼にて打ち合わせを行っている。 連絡ノートなどで引継ぎを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	HUGのサービス提供記録、ケア記録、生活記録に残して見返せるようになっている。 日々の記録は残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的に行われていて見直しもやっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	平日は時間が少ないが出来る限り取り組めるように努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	自ら発信できるような声掛け等を心掛けている。 利用者の手の届く範囲に絵カードを配置し意思表示が出来るようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	4		他機関との連携は少ない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	5		協力医療機関はあるが運用実績がない為、流れを把握していない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	連絡ツールとしてLINEを取り入れ連絡や調整がしやすくなっている。 学校との情報共有等は送迎時やプリント等で行われている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		他機関との情報共有はあまりない。 保護者を經由しての情報共有に留まっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	問合せ等があれば情報提供を行っている。	移行先に情報共有が出来るよう準備を進めている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		他機関での研修等はあまりない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		地域の他児童と活動する機会は少ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		是非参加していきたい。 会議に参加する機会は少ない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時の申し送り、連絡帳、面談で行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		保護者の方への研修機会は少ない。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明をしている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談時に確認をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	面談時や送迎時に説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	可能な限り相談には対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	6		交流の場は少ないので保護者同士が気軽に集える茶話会のような催しの実施を検討している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	迅速な対応が出来る様努めている。 相談、意見に対しては対応が出来る。 苦情があった場合はその都度職員間で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	ホームページの更新やLINE等は常時出来ている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	留意されている。	より厳正な管理が必要と感じる。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	連絡帳、LINEでやりとりを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		夏休みに体験イベントを行い地域の方に来てもらうなどの活動を行いたい。 地域の方と交流する機会が少ない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4	マニュアル等の作成はされている。	見た事がない。 保護者への周知が不十分だと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	定期的に避難訓練を実施している。	避難訓練を行ってはいるが計画を作成しより現実に即した災害を想定した対応ができるように取り組んだ方がいいと思う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	保護者からの情報を基に対応している。 アセスメント等で確認、共有されている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者からの情報を基に対応している。 アセスメント等で確認、共有されている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3	研修等は定期的に実施されている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		安全確保に関して保護者との情報共有は少ない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2	ヒヤリハット報告書を作成、共有している。	共有は出来ているが事例検討や改善点の話合いが不足している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	定期的実施されている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	保護者に説明し計画書に記載の上同意を得ている。	明確化されていない部分がある。	